

# 東西総合病院からの お知らせ

〒309-1295 桜川市鞆田604  
TEL 0296-75-3171(代表) FAX 0296-76-1201



## 地域に病院があると いうこと



副院長・小児科医長  
中原 智子

テレビや新聞では毎日のように医師不足、救急たらいまわしに関する報道がなされ、それに関する特別番組も組まれていきます。皆さんは、これはその地域だけのことで、この地区では関係ないことと思っていませんか？

本病院の問題点として、医師数の減少が、大きな手術や多数の入院に対応することができない状況にあります。「外来でも診察してもらえなかった」「待ち時間が長い」と「怒りマーク」付きの投書を頂くことも多々あります。

病院のアンケート調査では、以前のようにあらゆる診療科がそろっていて、いつでも診察してくれる病院であってほしいという希望が多く見られます。さまざまな診療科があり、医師数が多ければ、日々の診療だけでなく救急にも余力を持って対応

することができませんが、余裕なく働いている現状では、大きな事故や災害はもちろん、一般救急への対応も困難となっています。

医師不足は、新臨床研修制度に帰する部分もありますが、公的病院としての宿命である病院の立地条件・規模、新しい施設・器械などへの対応の遅れ、医師の待遇などの問題も大きくかわっていると考えられます。医師を増やすには、これらの問題を解決し、病院としての方向性を提示し、計画実践していく必要があります。

桜川市に病院があることで、遠くに時間をかけて行かなくても治療を受けられる、家族に見守られながら入院治療ができる、全身を各科で総合的に診察できるという利点があり、乳幼児や高齢者だけでなく、将来の高齢者である若年層にとっても残しておきたい部分です。しかし、すべての診療科ということではなく、地域の必要度にあつた範囲や規模を想定することも大切であると考えます。

医師招聘に向けての院内での取り組みも効果が出てきたところですが、残っていた医師が働く意志を持ち続けるには、地域

の皆さんの協力が極めて重要です。県内でも医師数の少ないこの地域で、①各科ごとにかかれる地域の医院・病院の情報を知り、②家族の都合ではなく患者の病気の状態により、③救急度を判断し、④待つことができれば診療体制が十分整っている平日昼間に、⑤早めに受診することが、ここに住んでいる皆さん自身とその家族の命を守る最善の方法であると考えます。

### インフルエンザが流行しています 予防策は



- ① 手洗いとうがいの励行
- ② 栄養と休養を十分取る
- ③ 人混みをさける
- ④ 適度な温度・湿度を保つ
- ⑤ マスクをつける

市民の皆様のご意見などをお聴かせください。  
0296-75-3171  
(総務課まで)



～お客さまに豊かさと繁栄を～  
**古橋伸夫税理士事務所**

桜川市真壁町桜井765-2  
TEL 0296-54-1540

### 勉強がらくになるのは公文式!



はじめよう!  
**KUMON** ぜひ一度、教室も見に来て下さい。

お問い合わせ、お申し込みは下記まで  
TEL 0296-57-2969 (0歳～大人まで)